



特定非営利活動法人 すくすく子育て
やぎハウス通信

2023年2月7日発行

VOL.8



(市内冬景色)

発行元：特定非営利活動法人すくすく子育てやぎハウス
〒325-0074 栃木県那須塩原市松浦町121番地42
TEL/FAX：0287-74-2988
E-Mail：yagihaisu@rb4.so-net.ne.jp
WEB：https://sites.google.com/view/yagihaisu

ごあいさつ

日頃、やぎハウスに対し、ご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
令和5年は新型コロナから解放されるような良い年になることを心よりお祈り申し上げます。
さて、子どもの居場所「やぎハウス」もオープンして7年目に入ります。今年は補助金を活用し、自主事業の子ども食堂での交流、特別学習支援、子育て相談の充実等に取り組んでいきたいと考えています。また、去年の利用実績がまとまりましたので、概要をお知らせします。

①放課後応援事業			②子育て短期支援事業(ショートステイ)		
区分	2022年	1月~12月	区分	2022年	1月~12月
	開設日数	194日		開設日数	74日
利用者延数	小学生	523	利用者延数	2歳未満	0
	中学生	484		2歳以上	108
		合計 1,007人			合計 108人
利用状況延数	食事	980	③子ども食堂「やぎさんのカレー」		
	入浴・洗濯	71	区分	2022年	4月~12月
	学習	523		開設日数	8日
	送迎	1283	利用者延数	テイクアウト	738
	相談	234		店内食事	119
		合計 3,091人			合計 857食

まごころありがとうございます

〔寄付金、物品等の支援お礼：順不同〕2022年6月~2023年1月受付分

- ・(有)磯ヶ谷養鶏園様 ・鈴木内科外科クリニック様 ・(有)菊地市郎商店様
- ・青木道の駅産直会様 ・黒磯地区更生保護女性会様 ・黒磯市場菊地三男様 ・(株)薄葉設備様
- ・(有)ミートショップかなざわ様 ・那須塩原市社会福祉協議会様 ・JAなすの各地区女性会様
- ・NPO子どもの育ちを応援する会様 ・勝風館様 ・埼玉どんと焼き実行委員会様 ・栃木トヨタ様
- ・こどものための柴基金柴俊夫様 ・東原小学校様 ・(株)大正堂様 ・吉成礼子様 ・サークルひばり様
- ・社会福祉協議会経由 (ZAPP黒磯店様、ダイナム黒磯店様) ・東レ労働組合那須支部様
- ・日本アニメ企画(株)様 ・NPOドリームフォーキッズジャパン様 ・ワイツーファクトリー(株)様
- ・菊地彰様 ・時庭勝彦様 ・時庭美智子様 ・岡本賢二様 ・岡部松一様 ・七瀬美菜 (歌手) 様
- ・白井良子様 ・伊藤康雄様 ・東原の中村様 ・人見文夫様 ・末武陽子様 ・青木の堀江様 ・和久強様
- ・鍋掛の平山様 ・柴山照子様 ・猪瀬律子様 ・秋元正邦様 ・那珂川町の匿名様 ・永山桂子様
- ・近藤智之様 ・東那須野中PTA様 ・浅野義夫様 ・神谷光邦様 ・桜井孝夫様 ・中山雅樹様
- ・鈴木千代子様 ・渡部紀久子様 ・八木澤陽様 ・清川典子様 ・新緑町の宮沢様



楽しいこと、いっぱいしようね！！



(ディスクの道具)

【小学生夏のお楽しみ会】

今年は「田舎ランド鳴内」をお借りして、レクリエーション協会の方に「ディスクコン」を教えていただきました。練習後はチームに分かれての試合です。黄色的を目掛けディスクを滑らせる様子は真剣そのもの。最後は順位に合わせて景品をゲットしました。

昼食にはスタッフとボランティアさんで作った「pizza&焼きそば」を食べました。

また、施設内にある工房をお借りして作品作りに夢中になる子もいました。

いつもと違う体験は子どもたちの目をキラキラと輝かせる時間となりました。

【中学生のお楽しみ会】

部活で多忙な中学生は、秋休みを利用して映画鑑賞にでかけました。話題の「ONE PIECE FILM RED」を観に行きました。

映画開演前に、今年もフード&ドリンクコーナーでお買い物ミッション。大きな大きなポップコーンを買ってみたり、ホットドックを頼んだり。ひとりだとドキドキの子は、誰かに助けてもらう様子もありました。なんでも経験してみなくちゃね！

上映が始まるとUTAの大迫力の歌におばちゃんたちはびっくりでした。(; ㉟) すごいねえ

★Merry Xmas★

冬はなんといってもクリスマス会。感染症対策を施しながら、何とかみんなで楽しい会食ができないかと考えました。毎年恒例のスタッフからの歌のプレゼントは、涙ながらに取りやめ(; ㉟)、「やぎバーガー」を始め、たっぷりのごちそうを作りました。いつもはかわいいお皿に盛り付けていましたが、感染症対策のため、蓋で覆えるお弁当パックにしました。でもクリスマス柄のピックやカップで可愛らしさを演出してみましたよ。会食の前には、小学生は「宝探し」、中学生は水の入ったペットボトルを、1回転させて立たせるゲームを楽しみました。景品には、クリスマスパーティーにと送っていただいた、キャラクターグッズから、好きなものを選ぶことができました。その他、文具や菓子など、年齢に合わせたものを、それぞれに購入し、プレゼントすることができ、笑顔あふれるクリスマス会となりました。

やぎハウスでは、皆様からたくさんの応援をいただき、日々の生活、行事がより充実したものとなっています。本当にありがとうございます。

【コロナ禍のショートステイ事業】

自分の若い頃と、今の子育ての何が違うのかと考えたくなるほど、ママ達は子育てに苦労しているように見えます。コロナ禍が、人との距離を遠ざけ、会話を遮断し、さらに子育てを難しくしてしまったのではと。

色々な事を、家庭単位でやりぬかねばという意識が、コロナ禍の社会に漂う中、子育ても例外ではなかったように思えます。子育てを頑張るしかない状況になってしまったママ達は、家の中で子どもと頑張るしかなかったのでは。自分を励まし頑張り続けることは、苦しく限界があります。もともと、ママ達は息が詰まるほど忙しく、頑張り続けていたと思います。また、子育てはたくさんの人の手を借りるほど、上手くいくと言われていました。ママ達が、誰かに頼っても良いと思えるような社会の仕組みができたなら、子育ては楽しいものになってしまうと思います。

様々な理由で、ショートステイを利用するママ達が、増えています。縁あって、やぎハウスに来る子ども達と、何をしたら楽しい時間を過ごせるかいつも考えます。短い時間の中で、ワクワクしながら過ごす日々を、大切にしていきたいと思っています。(八木澤明美)



【嬉しいエピソード】

6年近く、やぎハウスを利用している中学生女子。2023年1月「ありがとう」がスムーズに言えるようになりました。最初は、聞き違いかなと思い、控えめにスタッフに報告。「何だろう。何か心にしみたのかなあ」と半信半疑。その後、他のスタッフも「ありがとう」の声を確認。これは本物！

私達のやぎハウスという居場所が、色々な事に直面し、葛藤しながら、考えぬいて少しずつ進んできた、私達のやり方が実を結んだ瞬間でした。心と目頭が温かくなり、幸せな気持ちにさせてもらいました。